

平成6年度大学入学者選抜

# 受験 案内

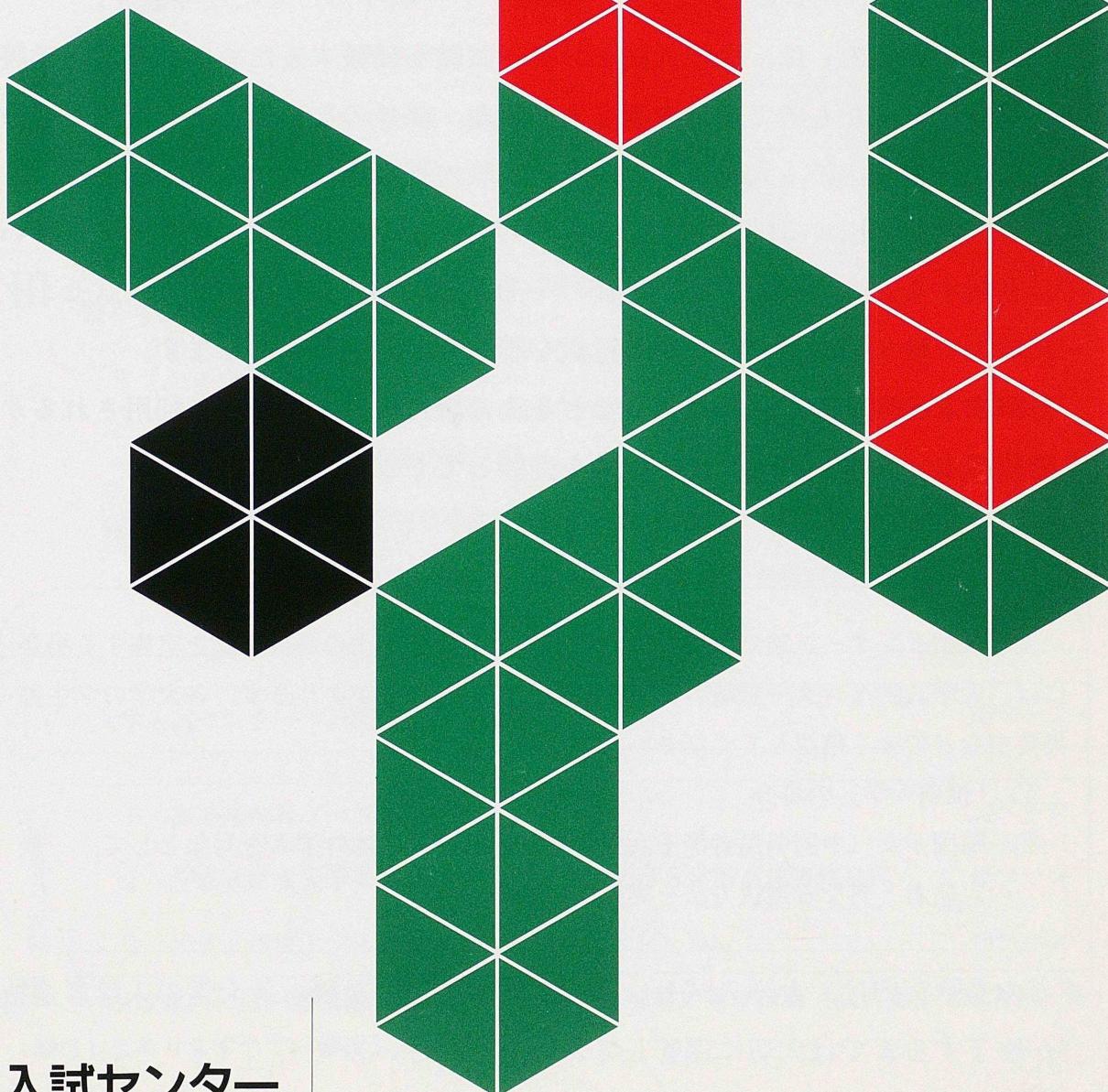
## 大学入試センター試験

■出願期間 平成5年10月15日(金)

～10月26日(火)

■試験期日 平成6年 1月15日(土)

・1月16日(日)



大学入試センター

## この「受験案内」を手にされた皆さんへ

大学入試センター試験は、この試験を利用する国公私立大学が大学入試センターと協力して同一の期日に同一の試験問題により、共同して実施するものです。

この試験は、大学に入学を志願する者の高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的とするものです。その成績は、大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的に判定することに役立てるために、それぞれの大学がその判断と創意工夫により適正な方法で利用しようとするものです。

入学者の選抜において「大学入試センター試験」を利用することになっている大学（学部）（この冊子の49ページ以下に掲げられている。）に入学を志願する場合は、まず、「大学入試センター試験」を受験することになります。

この「受験案内」は、大学入試センター試験を受験するために必要な諸手続等を取りまとめたものです。内容をよく読み、誤りのないようにしてください。

なお、各大学での、大学入試センター試験の利用方法は様々で、例えば、すべての大学が利用する国公立大学でも同じではありませんし、私立大学においては利用する選抜の対象を入学定員の一部としたり、志願者に大学入試センター試験を受験するか、しないかの選択を委ねている場合もあります。

志願する各大学の学生募集要項などをよく読んで、どのように利用されるかを確認の上、大学入試センター試験を受験してください。

大学入試センター試験の利用を原則とする大学でも、次の選抜方法を実施する場合には、大学入試センター試験の受験を免除していることがあります。各大学の学生募集要項などでよく確認してください。

- ① 「推薦入学」の場合
- ② 帰国子女（中国引揚者等子女を含む。）、社会人又は外国人を対象として、一般的の志願者と異なる選抜方法を実施する場合

☆この受験案内は、大学入試センター試験が終了した後も各大学の入学者選抜が終了するまでは大切に保管しておいてください。

## 目 次

I 志願票に記入する前に	1 出願の手順	2 ページ
	2 出願資格と出願資格を証明する書類	2 ページ
	3 検定料の納付方法	6 ページ
	4 志願票の記入方法	8 ページ
	5 出願期間と出願方法等	12 ページ
II 志願票が受理されたら	1 確認はがき	14 ページ
	2 受験票・写真票・成績請求票	14 ページ
III あらかじめよく読んでおく	1 平成6年度大学入試センター試験実施日程	18 ページ
	2 試験期日・試験時間	18 ページ
	3 出題教科・科目等	19 ページ
	4 試験場の指定	21 ページ
	5 受験教科・科目成績の大学入試センター試験利用 大学への提供方法	23 ページ
	6 追試験及び再試験の実施	23 ページ
	7 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置	24 ページ
	8 出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者等の 受験特別措置	25 ページ
	9 受験に当たっての主な注意事項	26 ページ
	10 大学入試センター試験において、各選択科目間に 著しい得点差が生じた場合の取扱い	27 ページ
IV 大学入試センターへの問合せ、届出等		28 ページ
V 参考資料	1 高等学校等コード表	29 ページ
	2 平成6年度大学入試センター試験利用大学入学者選抜実施日程	48 ページ
	3 平成6年度大学入試センター試験利用大学一覧	49 ページ

(注) この受験案内には、志願票、検定料の納付書（2種類）及び封筒（個人直接出願者用）を添付しておりますので、確認してください。

## I 志願票に記入する前に

### 1 出願の手順

志願票に記入する前に、まず、出願の手順について確認し、必要な手続きを行ってください。

[掲載ページ]

2~5ページ

出願資格を証明する書類の入手

検定料の納付

6~8ページ

志願票の作成

8~11ページ

出願書類の提出

12~13ページ

### 2 出願資格と出願資格を証明する書類

(1) 平成6年度大学入試センター試験に出願できる者は、大学入試センター試験を利用する大学に入学を志願する者であつて、次のいずれかに該当する者です。

- ① 高等学校を卒業した者及び平成6年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成6年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成6年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) 出願資格の内訳とその出願資格を証明する書類は、次のとおりです。証明書類は、志願票に添付して提出してください。

- ① 高等学校を卒業した者及び平成6年3月卒業見込みの者

ア 高等学校等卒業見込み者（通信制の課程を含む。）

〔平成6年3月高等学校（盲学校、聾学校、養護学校）の高等部を含む。〕を卒業見込みの者

証明書類

学校長から一括して証明されますので、志願者個人ごとに必要ありません。

イ 高等学校卒業者（盲学校、聾学校、養護学校の高等部を含む。）

証明書類

卒業証明書〔出身高等学校長が発行するもの〕  
いつ発行されたものでもよい

- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成6年3月修了見込みの者

- 高等専門学校第3学年修了者及び平成6年3月修了見込み者

証明書類

高等専門学校第3学年を修了したこと（修了見込みであることを）を証明する書類（高等専門学校長が発行するもの）

- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成6年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成6年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの（大韓民国の「高等学校卒業学力検定試験」合格者、中国引揚者等子女で大学入学のための準備教育を修了したもの等が該当する。）（昭和56年文部省告示第153号）

〔注1〕 5ページ参照

証明書類

外国において学校教育の12年の課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（出身学校長が発行するもの。Diplomaを複写（コピー）したものでもよい）  
文部大臣の指定したものに該当するものは、当該国の検定に合格したことを証明する書類又は我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（当該施設又は検定試験実施機関の長が発行するもの）

イ 文部大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成6年3月31日までに修了見込みの者（立教英國学院、英國四天王寺学園、アルザス成城学園、英國暁星國際學園、東海大学付属デンマーク校、ブレーメン國際日本学園、帝京ロンドン学園、駿台アイルランド国际学校、テネシー明治学院、慶應義塾ニューヨーク学院、渋谷幕張シンガポール校、スイス公文学園、トゥレーヌ甲南学園及びサウスクリーンズランドアカデミーの各高等部がこれに該当する。）（平成3年文部省令第45号）

証明書類	在外教育施設の高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を修了したこと(修了見込みであること)を証明する書類(立教英國学院、英國四天王寺学園、アルザス成城学園、英國暁星国際学園、東海大学付属デンマーク校、ブレーメン国際日本学園、帝京ロンドン学園、駿台アイルランド国際学校、テネシー明治学院、慶應義塾ニューヨーク学院、渋谷幕張シンガポール校、スイス公文学園、トゥーレヌ甲南学園及びサウスカイーンズランドアカデミーの学校長が発行するもの)
------	---

ウ 文部大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号) [注2] 5ページ参照

証明書類	出身学校等を卒業又は修了したこと(修了見込みであること)を証明する書類又はこれに準ずるもの(出身学校長が発行するもの) 国際バカロレア資格を取得した者は、国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)を複写(コピー)したもの
------	--

エ 大学入学資格検定に合格した者及び平成6年3月31日までに合格見込みの者で、平成6年3月31日までに18歳に達するもの

証明書類	(ア) 大学入学資格検定合格者 ・大学入学資格検定合格証書を複写(コピー)したもの 又は合格証明書 (注) 合格証明書は、文部省生涯学習局生涯学習振興課に請求し入手すること。
	(イ) 平成5年度大学入学資格検定に合格見込みの者 ・平成5年度大学入学資格検定受検票を複写(コピー)したもの
(ウ) 科目合格者の単位修得による平成5年度大学入学資格検定に合格見込みの者 大学入学資格検定で既に一部の科目に合格し、残りの受検科目に相当する科目について、在学している高等学校の定時制の課程又は通信制の課程で、平成6年3月31日までに修得する見込みの者がこれに該当する。 ・次の①と②の書類 ① 大学入学資格検定科目合格通知書を複写(コピー)したもの又は平成5年度大学入学資格検定受検票を複写(コピー)したもの ② 受検科目に相当する科目的単位修得見込み証明書 (注) 科目合格通知書は、文部省生涯学習局生涯学習振興課に、単位修得見込み証明書は、在学する高等学校長にそれぞれ請求し入手すること。	

オ その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

証明書類	当該大学の学長が発行した認定書等 [注3] 5ページ参照
------	------------------------------

[注1] 「文部大臣の指定したもの」は、次のとおりです。

- 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で、平成6年3月31日までに18歳に達するもの(大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」等がこれに該当する。)
- 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者を含む。)で、表1に掲げる教育施設又は表2に掲げる施設において、我が国の大學生入学するための準備教育を行う課程(表2については、同表の上欄及び中欄に掲げる施設における研修並びに同表の下欄に掲げる施設における我が国の大學生入学するに必要な教科に係る教育をもって編成される当該課程)を修了し、かつ、平成6年3月31日までに18歳に達するもの

表1

東京外国语大学外国语学部附属日本語学校	東京外国语大学留学生日本語教育センター
国際学友会日本語学校	大阪外国语大学留学生日本語教育センター
関西国際学友会日本語学校	
赴日留学生予備学校	

表2

上欄	北海道中国帰国孤児定着促進センター、福島中国帰国孤児定着促進センター、中国帰国孤児定着促進センター、愛知中国帰国孤児定着促進センター、大阪中国帰国孤児定着促進センター、福岡中国帰国孤児定着促進センター
中欄	山形県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、高知県、福岡県、長崎県、鹿児島県の各中国帰国者自立研修センター
下欄	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター

[注2] 「文部大臣の指定した者」の主なものは、次のとおりです。

- 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)による小学校、中学校若しくは高等学校の教諭の普通免許状を有する者又は教育職員免許法施行法(昭和24年法律第148号)によりこれらの免許状を有するものとみなされた者(旧教員免許令(明治33年勅令第134号)に基づく旧実業学校教員検定に関する規程(大正11年文部省令第4号)による実習科目に関する限りの実業学校教員免許状を有する者を除く。)
- スイス民法典に基づく財團法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で平成6年3月31日までに18歳に達するもの
- 専修学校高等課程の修業年限3年以上の課程で文部大臣が別に指定したものを文部大臣が定める日以後に修了した者及び平成6年3月修了見込みの者
- 運輸省組織令(昭和59年政令第175号)による海員学校の本科を卒業した者及び平成6年3月卒業見込みの者

[注3] この認定による大学入試センター試験受験者は、出願資格を認定された大学以外の大学への出願は認められません。

出願資格及び出願資格を証明する書類について疑問がある場合は、出願する前にできるだけ早く大学入試センターに照会してください。(照会先28ページ参照)

なお、3ページ③アの資格により出願する者のうち、特にインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者は、出願資格の確認等に時間がかかる場合がありますので早めに照会してください。

### 3 検定料の納付方法

(1) 検定料は、受験する教科数によって納付金額が異なりますので、次表により十分確認して、間違いのないよう納付してください。  
(教科・科目の数え方について7~8ページ参照)

① 検定料の額	・ 3教科以上 14,000円 ・ 2教科以下 9,000円
② 使用する「納付書・領収証書」	・ 3教科以上を受験する場合は、納付金額14,000円の「納付書・領収証書」(3枚1組)を使用すること。 ・ 2教科以下を受験する場合は、納付金額9,000円の「納付書・領収証書」(3枚1組)を使用すること。 (注) どちらか一方を使用すること。
③ 「納付書・領収証書」の記入方法	現住所、入学志願者の氏名(フリガナ、漢字)、高等学校等コード(29~47ページ参照)を黒又は青のボールペンで正確に記入すること。
④ 納付場所	・銀行等 [都市銀行、地方銀行、信託銀行、信用金庫] 等の日本銀行歳入代理店の窓口 ・郵便局(簡易郵便局を除く。) (注) 簡易郵便局とは、郵政大臣の委託により地方公共団体・農業共同組合・消費生活共同組合等が郵便局の窓口業務を代行しているもので、ここでは検定料の払い込み業務は取り扱っていない。
⑤ 納付期間	9月1日(水)から10月26日(火)まで できるだけ早い時期に納付し、出願の準備を整えること。
⑥ 「納付書・領収証書」の大学入試センターへの提出	・納付場所から「納付書・領収証書」(3枚1組中の1枚目)を受け取り、領収印を確認すること。 ・領収印のある「納付書・領収証書」を、志願票裏面の所定欄にはり付けて大学入試センターへ提出すること。

(2) 検定料納付に当たっては、次の点に注意してください。

ア 検定料を保護者等が払い込む場合でも、「納付書・領収証書」には、必ず入学志願者本人の氏名を記入すること。  
誤って記入した場合(現住所、高等学校等コードを含む。)は、誤記入部分を二重線で消し、訂正すること。

イ 「納付書・領収証書」をはり付けた後に、志願票の記入の誤り等でやむを得ず新しい志願票に書き替えなければならない場合には、「納付書・領収証書」を志願票ごと切り取って、新しい志願票の裏面にはり付けること。(検定料を二重に納付しないこと。)

ウ (ア) 検定料納付後、受け取った「納付書・領収証書」を紛失した場合は、大学入試センターに電話で連絡すること。  
(連絡先28ページ参照)

(イ) 誤記入、未記入のまま検定料を納付してしまった場合は、「はがき」に次の事項を明記し、速達郵便で届け出ること。

手元にある「納付書・領収証書」は訂正、補記した上、志願票の裏面にはり付けること。  
(届出先28ページ参照)

① 誤記入、未記入の内容(正・誤がわかるように明記する)  
② 氏名(フリガナ)、現住所、連絡電話番号、高等学校等コード  
③ 「納付書・領収証書」が手元にある場合には、その納付書番号

エ 検定料を納付せずに出願した場合は、受理しない。

オ 検定料は、出願を受理した後は、いかなる理由があっても返還しない。

(注) 検定料を誤って二重に納付した場合、検定料を納付したが出願しなかった場合は、検定料の返還請求ができるので、大学入試センター会計課に検定料の「納付書・領収証書」を添付して申し出てください。

#### 別記

#### 教科・科目の数え方について

(1) 大学入試センター試験の出題教科・科目は、19~20ページのとおりですが、検定料との関係での教科の数え方は、次表のとおりです。

出題教科	教科の数え方
国語	1教科
社会	1教科
数学	数学(A), 数学(B)を合わせて 1教科
理科	理科(A), 理科(B), 理科(C)を合わせて 1教科
外国語	1教科

(2) 3教科以上の受験として出願した場合は、受験教科数の制限はなく、19~20ページの出題教科・科目の中から、志望する大学が指定している教科・科目に合わせて自由な組合せで受験できます。

(3) 2教科以下の受験として出願した場合は、具体的に受験できる教科・科目を例示すると、次表のとおりです。

教科・科目数	組合せの例
1教科1科目	・「国語」
1教科2科目	・数学(A)と数学(B)
1教科3科目	・理科(A)と理科(B)と理科(C)
2教科3科目	・「国語」及び「理科(A)と理科(B)」
2教科5科目	・「数学(A)と数学(B)」及び「理科(A)と理科(B)と理科(C)」

2教科以下の受験として出願した者(検定料9,000円納付者)は、3教科以上を受験することはできません。

## 4 志願票の記入方法

### (1) 記入上の注意について

ア 入学志願者は、志願票の記入例を参照し、まず「志願票控」に記入してみて、その記入内容に誤りがないことを確認した後に、「志願票」(提出用)に記入してください。  
「志願票」(提出用)の用紙は、この受験案内に添付してあるものを使用してください。

イ 「志願票」(提出用)には、必ず入学志願者本人が黒又は青のボールペンで丁寧に記入してください。(身体に障害のある入学志願者で記入が困難な場合は除きます。)

ウ 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正してください。(訂正是文字がマスからはみ出てもよい。)

#### エ 「①高等学校等コード」欄

(ア) 「高等学校等コード」は、29~47ページの「高等学校等コード表」により記入してください。

(イ) 高等学校等卒業者は、出身の高等学校等のコードを記入してください。

#### オ 「⑦性別」、「⑧生年月日」欄

この欄は、記入もれが多いので注意してください。

特に「性別」欄は、試験場を決定する上で重要な事項ですので必ず記入してください。

#### カ 「④受験教科数」欄

2教科以下の受験(検定料9,000円)する場合は、「2教科以下受験」の文字を○で囲んでください。(3教科以上受験する志願者は記入しないでください。)

2教科以下の受験として出願した者は、出願後、3教科以上の受験に変更することはできません。(3教科以上の受験として出願した者は、試験当日に2教科以下を受験することはできますが、検定料は返還されません。)

(教科・科目の考え方について7~8ページ参照)

#### キ 「⑩課程」、「⑪学科」、「⑫卒業見込・卒業の別」欄

高等学校卒業者及び卒業見込者は、必ず該当する文字を○で囲んでください。

#### ク 「⑭高等学校卒業者以外」欄

該当する出願資格の文字を○で囲んでください。  
専修学校の高等課程の修了(見込み)者及び海員学校の本科の卒業(見込み)者は、「文部大臣の指定した者」の文字を○で囲んでください。

#### ケ 「現住所」欄

(ア) 高等学校等卒業見込者(通信制課程を除く。)は、「現住所」の欄は記入しないでください。

(イ) 高等学校卒業者等(通信制課程卒業見込者を含む。)は次の事項に注意し、志願票に「現住所」を必ず記入してください。

① 「現住所」は、住民登録の有無は問いませんが、確認はがき、受験票等の送付先となりますので、郵便物を確実に受領できるように正しく記入してください。

② 団地・アパート等に居住している者は、棟番号、戸番まで必ず記入してください。下宿等の場合は、「○○○○方」などの肩書きを必ず記入してください。

(現住所を大学入試センターの電子計算機に登録する際には「⑯カタカナ・数字等記入」欄により行いますので、記入例に従い最後まで正しく記入してください。)

③ 試験場は、この「現住所」に基づいて指定するので注意し、記入してください。

### (2) 「別冊子の試験問題配付希望」欄の記入について(「工業数理」「簿記会計I・II」「ドイツ語」「フランス語」)

数学(B)、外国語の受験希望者で、「数学II」、「英語」の問題冊子のほかに、別冊子となっている「工業数理」又は「簿記会計I・II」、「ドイツ語」又は「フランス語」の問題冊子の配付を希望する場合は、必ずこれらの科目的文字を○で囲んでください。  
(科目選択について20ページ参照)

記入しなかった場合は、「工業数理」「簿記会計I・II」「ドイツ語」又は「フランス語」の問題冊子が配付されませんので、十分注意してください。(なお、これらの問題冊子の配付を受けた場合でも、「数学II」、「英語」を選択解答することができます。)

### (3) 「受験希望教科・科目」欄の記入について

ア 志願票記入時点での受験希望の教科・科目の文字を○で囲んでください。(「工業数理」「簿記会計I・II」「ドイツ語」「フランス語」を除く。)  
(科目選択について20ページ参照)

イ この欄は、試験場設定等の基礎資料とするために記入していただくもので、実際に受験する教科・科目は、試験当日、試験場で変更することができます。

(4) 志願票の記入例

高等学校等コード表(29~47ページ)  
の該当するコードを記入してください。  
高等学校卒業者や高等学校卒業以外の資格で出願する者も必ず記入してください。

志願者は記入しないでください。

身体障害者受験特別措置を申請する者だけ「希望」の文字を○で囲んでください。

志願者全員が必ず記入してください。(自宅以外の下宿、寮、実家等でも構築です。)

高等学校卒業者(卒業見込者)は、該当する文字を○で囲んでください。

高等学校卒業者等(通信制課程卒業見込者を含む)は、現住所を記入してください。

高等学校等卒業見込者(通信制課程卒業見込者を除く)は、現住所を記入しないでください。

都・市・区・町村、町・丁目・番地・團地・棟・号・方等の間は1コマ空けてください。

この4科目については、問題冊子の配付を希望する場合だけ、その科目の文字を○で囲んでください。  
(出願時に申告しなかった場合は、これらの科目を受験することができます。)

①高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)
2 1 3 2 6 1 G
出身学校名 南多摩高等学校
⑤カタカナ記入(姓と名の間は、1コマをあけ、濁点及び半濁点は1コマとする。) 氏 アオハラ カオル
⑥漢字等記入(かい書で丁寧に記入すること。) 名 青葉 薫
⑨連絡電話番号 (自宅、下宿、寮等) 0426-465-8600
出願資格 高等学校卒業者(卒業見込者を含む。)
⑩課程 1 全日制 2 定時制 3 通信制 ⑪学科 1 普通科 2 理数科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 外国語 ⑫卒業見込・卒業の別 1 卒業した年 2 在外教育施設 3 文部省指定大臣たの者 4 大資格検定 5 高等学校修了他 ⑬卒業した年 05
⑭高等学校卒業者以外 1 国際化 2 在外教育施設 3 文部省指定大臣たの者 4 大資格検定 5 高等学校修了他 ⑮郵便番号 (都道府県名) 東京都 (市・区名) ハ王子市 (区・町村名) 千人町5丁目19-23 (方) 青葉マンション3室山田三郎方
現住所 16 カタカナ トウキョウト ハチオウシジ セニニンキヨウ 5キヨウメ 19-23 アオハラ マンション 3コウウシツ ヤマタ サフロウ カタ
所 17 数字等記入 記入しない場合は、 該当する欄を除く。
別冊子の試験問題配付希望 17 数学 18 外国語 1 2 1 2 176 177
受験希望教科・科目 19 国際化 20 社会 21 数学 I 22 理科 23 外国語 1 1 2 3 4 5 178 179 180 181 182 183 184 185
志願票記入時点での受験希望教科・科目の文字を○で囲んでください。 (受験する教科・科目は、試験当日、試験場で変更することができます。)

10月27日以降の消印で郵送されたものは受理しないので注意してください。

平成6年度大学入学者選抜大学入試センター試験  
志願票控

①高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)
2 1 2 3 4 5 6 7
出身学校名 高等学校 学
②身体障害者受験特別措置 希望 8
③整理番号 (高等学校単位に一連番号を右につめて記入)
④受験教科数 1 2教科以下受験 13
⑤カタカナ記入(姓と名の間は、1コマをあけ、濁点及び半濁点は1コマとする。) 氏 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
⑥漢字等記入(かい書で丁寧に記入すること。) 名 男 1 女 2 M T S 昭和 52 53 54 55 56 57 58 59
⑦性別 ⑧生年月日 年号 年月日 M T S 昭和 52 53 54 55 56 57 58 59
⑨連絡電話番号 (自宅、下宿、寮等)
出願資格 高等学校卒業者(卒業見込者を含む。)
⑩課程 1 全日制 2 定時制 3 通信制 ⑪学科 1 普通科 2 理数科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 外国語 ⑫卒業見込・卒業の別 1 卒業した年 2 在外教育施設 3 文部省指定大臣たの者 4 大資格検定 5 高等学校修了他 ⑬卒業した年 75 76 77 78 79 80
⑭高等学校卒業者以外 1 外国語 2 在外教育施設 3 文部省指定大臣たの者 4 大資格検定 5 高等学校修了他 ⑮郵便番号 (都道府県名) 東京都 (市・区名) ハ王子市 (区・町村名) 千人町5丁目19-23 (方) 青葉マンション3室山田三郎方 記入しない場合は、該当する欄を除く。
現住所 ⑯カタカナ トウキョウト ハチオウシジ セニニンキヨウ 5キヨウメ 19-23 アオハラ マンション 3コウウシツ ヤマタ サフロウ カタ (1コマに1字ずつ記入し、濁点及び半濁点は1コマとして使用する。)
⑰漢字等記入 記入しない場合は、該当する欄を除く。
別冊子の試験問題配付希望 17 数学 18 外国語 1 2 1 2 176 177
受験希望教科・科目 19 国際化 20 社会 21 数学 I 22 理科 23 外国語 1 1 2 3 4 5 178 179 180 181 182 183 184 185

(注)記入に当たっては、8~9ページの記入上の注意、10ページの志願票の記入例を参照してください。

## 5 出願期間と出願方法等

### (1) 出願期間

平成5年10月15日（金）～10月26日（火）（10月26日消印有効）

（10月27日以降の消印のものは、いかなる理由があっても受理しません。）

### (2) 出願方法

区分	出願書類	提出方法
高等学校等卒業見込者（通信制課程を含む。）	<b>志願票</b> 〔検定料「納付書・領収証書」を裏面の所定欄にはり付けること。〕	入学志願者は、左記の志願票を在学している高等学校等に提出すること。 <b>（高等学校経由出願）</b>
高等学校卒業者等	① <b>志願票</b> 〔検定料「納付書・領収証書」を裏面の所定欄にはり付けること。 ・現住所は、正確に記入すること。〕 ② <b>出願資格を証明する書類</b> 〔卒業証明書が出身高等学校の封筒に入っているものは、封筒から出して（「開封無効」と表示のあるものを除く。）添付すること。〕	入学志願者は、左記の志願票と証明書類を取りそろえて、この受験案内に添付してある封筒を使用して、必ず書留便で郵送すること。 <b>（個人直接出願）</b>

### (3) 出願に当たっての留意事項

ア 大学入試センター試験では、受験する教科数によって検定料の納付金額が異なります。  
(検定料の納付方法6～8ページ参照)

イ 2教科以下の受験として出願した者は、出願後、3教科以上の受験に変更することができないので、十分留意して出願してください。（3教科以上の受験として出願した者は、試験当日に2教科以下を受験することはできますが、検定料は返還されません。）  
(出題教科・科目等19～20ページ参照)

ウ 出願方法について疑問がある場合は、なるべく早く大学入試センターに照会してください。  
(照会先28ページ参照)

### (4) 出願後の留意事項

ア 志願票を提出した後、氏名、現住所（志願票に現住所を記入した者だけ）、連絡電話番号に変更があった場合は、「はがき」に次の事項を明記し、速達郵便で平成6年1月14日（金）（大学入試センター試験前日）までに届け出てください。

（届出先28ページ参照）

- ① 変更したものの新・旧がわかるように明記する。
- ② 氏名（フリガナ）、現住所（フリガナ）、連絡電話番号、高等学校等コード、高等学校名（高等学校出身者以外は出願資格）

イ 志願票が受理された後に現住所を変更した場合は、試験場の変更は認められない  
ので注意してください。  
(試験場の指定21～22ページ参照)

ウ 受験票到着後に氏名を変更した場合は、受験票等の再発行が必要となります。  
必要な手続きを取ってください。  
(受験票等の再発行15～16ページ参照)

- ① 受験票・写真票・成績請求票が12月21日（火）までに届かない場合
- ② 氏名に変更があった場合
- ③ 氏名・性別・生年月日に誤記がみつかった場合
- ④ 受験票・写真票・成績請求票が届かない場合
- ⑤ 受験票・写真票・成績請求票を紛失した場合

（注）① 再発行した受験票等は、当初発行したものと用紙の色が異なる場合に付いて注意してください。  
② ①～④の理由による再発行の場合は、再発行料（1回につき1,000円）を支払う必要があります。  
⑤ ①～④の理由による再発行の場合は、不要となる受験票等を大学入試センターに返送してください。

### ● 再発行申請・票交換・票真署・票録受 ●

① 大学入試センター試験受験料  
一次の受験で通常の用紙を使って「再発行申請書」を作成し、速達郵便で申請してください。  
票交換・票真署・票録受：（第1回試験を容入した場合の認証書または1回につき1枚の入試料）  
（支払料）持込りはるの支拂いコアモハ中良好、ヨシヨシ、ヨシヨシの上記受付料

## II 志願票が受理されたら

### 1 確認はがき

#### (1) 確認はがきの送付

大学入試センターは、受理した志願票の記入事項を電子計算機に登録した後、その主要事項について、入学志願者に照合確認を求めるため、次表のとおり確認はがきを送付します。

区分	送付方法
高等学校等卒業見込者 (通信制課程を除く。)	在学している高等学校等を経由して送付します。
高等学校卒業者等 (通信制課程卒業見込者を含む。)	本人に直接送付します。

(注) 確認はがきが、11月15日（月）までに届かない場合は、必ず大学入試センターに電話で届け出てください。  
(届出先28ページ参照)

#### (2) 確認が必要な事項

確認はがきには、次の登録事項が記載されています。誤りがないかどうか十分確認してください。

- ① 氏名（慣用の字体又はカタカナで表記されている場合がありますが、登録の誤りではありません。）
- ② 現住所（志願票に現住所を記入した者だけ）
- ③ 高等学校等コード
- ④ 性別
- ⑤ 生年月日
- ⑥ 連絡電話番号
- ⑦ 受験教科数
- ⑧ 配付希望試験問題（「工業数理」「簿記会計I・II」「ドイツ語」「フランス語」の問題冊子の配付を希望した者だけ）

#### (3) 登録事項に誤りがあった場合

確認の結果、登録事項に誤りがあった場合は、確認はがきの誤りがあった箇所を「赤のボールペン」で修正し、修正した「確認はがき」を封筒に入れて、速達郵便で受領日を含めできる限り2日以内に返送してください。  
(返送先28ページ参照)  
なお、登録事項に誤りがなかった場合は、手続きは必要ありません。

### 2 受験票・写真票・成績請求票

#### (1) 受験票等の送付

大学入試センターは、志願票の記入内容を確認した後、受験票・写真票・成績請求票を「受験上の注意」とともに、12月中旬までに、次表のとおり送付します。

区分	送付方法
高等学校等卒業見込者 (通信制課程を除く。)	在学している高等学校等を経由して送付します。
高等学校卒業者等 (通信制課程卒業見込者を含む。)	本人に直接送付します。

(注) 受験票等が12月21日（火）までに届かない場合は、必ず大学入試センターに再発行を申請してください。  
(受験票等の再発行は15~16ページ参照)

#### (2) 受験票・写真票・成績請求票の受領後の取扱い

ア 「受験票」と「写真票」は、大学入試センター試験当日、試験場に必ず持参しなければならないので、「受験上の注意」により十分確認の上、写真欄へ写真をはり付けるとともに自署欄へ志願者本人が氏名を記入しておいてください。(身体に障害のある入学志願者で記入が困難な場合は除きます。)

イ 「成績請求票」は、大学入試センター試験を利用する大学に出願する際に必要となるので、それまで紛失、汚損等しないよう大切に保管しておいてください。  
(成績請求票の種類は17ページ参照)

#### (3) 受験票・写真票・成績請求票の再発行

ア 次の場合、再発行します。

- ① 受験票・写真票・成績請求票が、12月21日（火）までに届かない場合（不着）
- ② 氏名に変更があった場合
- ③ 氏名、性別、生年月日に誤記があった場合
- ④ 受験票・写真票・成績請求票を汚損した場合
- ⑤ 受験票・写真票・成績請求票を紛失した場合

(注) 1 再発行した受験票等は、当初発行したものと用紙の色が異なるので注意してください。  
2 再発行を受けた場合には、当初発行の受験票・写真票・成績請求票は無効となるので使用しないでください。  
3 「現住所の変更・誤り」の場合は、再発行の必要はありません。  
4 ②~④の理由による再発行の場合は、不要となる受験票等を大学入試センターに返送してください。

イ 再発行申請の方法  
(ア) 大学入試センター試験受験前  
次の要領で適宜の用紙を使って「再発行申請書」を作成し、速達郵便で申請してください。  
(届出方法及び届出先28ページ参照)

(「受験票」と「成績請求票」の[A前, B後]を紛失した場合の作成例)

<b>大学入試センター試験 受験票等再発行申請書</b> <b>申請事由</b> (紛失) <b>種別</b> (受験票・成績請求票 A前, B後) <b>氏名</b> (アオバ カオル 青葉 薫) <b>現住所</b> 193 東京都八王子市千人町5丁目19-23 青葉マンション3号室 山田三郎方 <b>電話</b> 0426-465-8600 <b>高等学校コード</b> 13261G <b>高等学校名</b> 南多摩高校	紛失、汚損、氏名変更、不着等の申請の理由を記入してください。  受験票、写真票、成績請求票[A前・B後・C・2募・推薦・私]の種別ごとに再発行するので、再発行に必要なものだけを記入してください。(成績請求票の種類は17ページ参照)
--	---

- (イ) 大学入試センター試験受験後  
(ア) の「再発行申請書」のほか、次のものを同封してください。  
成績請求票だけの再発行の場合には、(ア)の「再発行申請書」だけでかまいません。

- ① 写真 (写真の大きさは、縦4cm、横3cm、申請日前3か月以内に撮影した無帽上半身のもの。なお、受験時に眼鏡を着用した者は、眼鏡を着用して撮影したもの。当初の受験票に使用した写真と同一のものが望ましい。) ————— 1枚  
 ② 署名 (縦1cm、横4cmの白紙に、氏名を黒又は青のボールペンで横書きで自署したもの。) ————— 1枚

(ウ) 大学入試センターは、申請事由を審査の上、再発行し、本人に送付します。

#### (4) 大学入試センター試験受験票の各大学での取扱い

##### ア 国公立大学の場合

各大学の入学者選抜試験受験の際、当該大学の受験票のほか、**大学入試センター試験の受験票を提示しなければなりません。**

また、入学手続きの際にも当該大学の定める所定の書類の他に大学入試センター試験受験票を提示し、当該大学はこれに入学手続きが完了したことを示す印を押すこととなりますので、紛失、汚損等のないように特に注意してください。

##### イ 私立大学の場合

大学入試センター試験を利用する私立大学における大学入試センター試験受験票の取扱いについては、各大学の学生募集要項等により十分確認してください。

#### (5) 成績請求票の大学入試センター試験利用大学への提出について

成績請求票は、大学入試センター試験を利用する大学に出願する際、**当該大学の出願書類にはり付けて提出するものです。**

成績請求票は6種類計9枚あり、それぞれの使用区分は次表のとおりです。

成績請求票の種類		枚数	使用区分(出願する大学)	
A	前	平成6センター試験成績請求票 A日程・前期日程用	1枚	A日程又は前期日程で試験を実施する国公立大学・学部
B	後	平成6センター試験成績請求票 B日程・後期日程用	1枚	B日程又は後期日程で試験を実施する国公立大学・学部及び産業医科大学
C		平成6センター試験成績請求票 C日程群用	1枚	C日程群で試験を実施する公立大学・学部
2募		平成6センター試験成績請求票 第2次募集用	1枚	定員一部留保第2次募集又は欠員補充第2次募集を実施する国公立大学・学部
推薦		平成6センター試験成績請求票 国公立推薦入学用	1枚	大学入試センター試験を課す推薦入学を実施する国公立大学・学部
私		平成6センター試験成績請求票 私立大学用	4枚	大学入試センター試験を利用する私立大学・学部(産業医科大学を除く。)

(注) 1 各国公立大学への出願に当たって成績請求票を使用する場合、**当該大学・学部の試験がいずれの試験実施日程(群)に属しているかを各大学の募集要項等により十分確認し、誤りのないように使用してください。**

国公立大学及び産業医科大学に出願する場合は、「A日程の大学・学部と前期日程の大学・学部」への出願又は「B日程の大学・学部と後期日程の大学・学部」への出願はできないので注意すること。(例えば、A日程の大学・学部に出願する者は、B日程の大学・学部か後期日程の大学・学部とC日程群の大学・学部にしか出願できない。)

2 大学入試センター試験を課さない国公立大学の推薦入学に出願する場合は、「国公立推薦入学用」の成績請求票を提出する必要はありません。

(国公立大学の推薦入学は、一つの大学・学部にしか出願できないので注意すること。)

#### (6) 私立大学用成績請求票の追加発行

大学入試センター試験を利用する私立大学用成績請求票は、当初発行した4枚を超えて必要とする場合、希望枚数を追加発行するので、次の事項を明記し、速達郵便で申請してください。  
(届出方法及び届出先28ページ参照)

- ① 私立大学用成績請求票の希望枚数  
 ② 氏名(フリガナ)、現住所(フリガナ)、連絡電話番号、高等学校等コード、高等学校名(高等学校出身者以外の者は出願資格)

(注)追加発行した私立大学用成績請求票は、当初発行したものと用紙の色が異なります。

### III あらかじめよく読んでおく

## 1 平成6年度大学入試センター試験実施日程

受験案内発表、配付開始

検定料納付	平成5年 9月1日(水)から 9月1日(水)から 10月26日(火)まで
出願受付	10月15日(金)から 10月26日(火)まで
確認はがき送付 (出願内容確認)	11月中旬まで
受験票等の送付	12月中旬まで
試験実施	平成6年 1月15日(土) 16日(日)
正解等を発表	1月17日(月)
追試験実施	1月22日(土) 23日(日)

## 2 試験期日・試験時間

期日	試験教科・科目	試験時間
平成6年 1月15日(土)	外国語 「英語I・英語II」、「ドイツ語」、「フランス語」	10:00~11:20
	数学(A) 「数学I」	12:50~13:50
	数学(B) 「数学II」、「工業数理」、「簿記会計I・簿記会計II」	14:40~15:40
	理科(A) 「物理」、「地学」	16:30~17:30
1月16日(日)	理科(B) 「化学」、「理科I」	10:00~11:00
	国語 「国語I・国語II」	12:30~13:50
	社会 「倫理・政治・経済」、「日本史」、「世界史」、「地理」、「現代社会」	14:40~15:40
	理科(C) 「生物」	16:30~17:30

(注) 第1日目と、第2日目の2時限目の試験開始時刻が異なりますので、十分注意してください。

## 3 出題教科・科目等

(1) 出題教科・科目等は、次表のとおりです。

教科グループ	出題科目	試験時間(配点)	出題方法等	科目選択の方法等
国語	「国語I」・「国語II」	80分(200点)	「国語I」・「国語II」の範囲の近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。	
社会	「倫理」・「政治・経済」、「日本史」、「世界史」、「地理」、「現代社会」	60分(100点)		左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。
数学 A	「数学I」	60分(100点)		
B	「数学II」、「工業数理」、「簿記会計I」・「簿記会計II」	60分(100点)	「数学II」の電子計算機と流れ図は、出題範囲から除く。 「数学II」については、「数学II」を履修した者並びに「代数・幾何」、「基礎解析」及び「確率・統計」のうち2科目以上を履修した者のいずれにも対応した出題とする。 「簿記会計II」は、前半の内容(①特殊な取引の記帳、②帳簿組織、③株式会社の記帳)を出題範囲とする。	左記出題科目の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「数学II」のほか「工業数理」又は「簿記会計I・II」の問題冊子の配付を希望する場合は、大願時に申告する。
理科 A	「物理」、「地学」	60分(100点)	「物理」、「地学」の出題には、「理科I」に含まれるそれぞれの関連内容を含む。	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
B	「化学」、「理科I」	60分(100点)	「化学」の出題には、「理科I」に含まれる関連内容を含む。	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
C	「生物」	60分(100点)	「生物」の出題には、「理科I」に含まれる関連内容を含む。	

外国語	『「英語Ⅰ」・ 「英語Ⅱ」』 「ドイツ語」 「フランス語」	80分 (200点)	左記出題科目の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「英語」のほか「ドイツ語」又は「フランス語」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申告する。
-----	--	---------------	--

(注) 1 「国語」の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2問100点), 古典(古文1問50点), 漢文(1問50点)」とする。

2 「工業数理」の使用単位系は、国際単位系(SI)に統一する。

3 数学(A)及び数学(B)においても、他の教科・科目と同様に補助具(そろばん、電卓、グラフ用紙、定規等)の使用を認めない。

(2) 大学入試センター試験は、主として多肢選択による客観式の検査方式により出題し、解答はマーク方式によります。

(3) 3教科以上の受験として出願した者は、受験教科数の制限はありませんが、2教科以下の受験として出願した者は、2教科を超える科目選択はできませんので注意してください。(教科・科目の考え方7~8ページ参照)

(4) 出題科目及び科目選択の方法等は、(1)の表のとおりであり、受験者は試験室において解答科目を選択し、解答することになります。

ただし、数学(B)、外国語の受験希望者で、「数学Ⅱ」、「英語」のほかに、別冊子となっている「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」、「ドイツ語」又は「フランス語」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申告しなければなりません。申告しなかった場合は、これらの科目を受験することができませんので注意してください。(申告の方法9ページ参照)

(注) 各大学においては、「現代社会」「理科Ⅰ」「工業数理」「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」等の科目について解答できる者に制限を設けている場合もありますので、各大学の募集要項等をよく読んで、教科・科目の選択を行ってください。

例えば、「現代社会」「理科Ⅰ」を選択解答できる者について、高等学校の「普通科」「理数科」の卒業(見込み)者以外の者に限るなどの制限を設けている大学もあります。

## 4 試験場の指定

- (1) 各入学志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする次ページの「試験地区区分表」に基づき、各公私立大学が設定した試験場の中から、大学入試センターが志願者数の分布等を勘案し、指定します。
- (2) 大学入試センターが指定する試験場は、次表のとおり出願資格によって異なります。

出願資格	指定する試験場	備考
県(古文、漢文)の高 校卒業者等	北海道 東北 関東 中部 近畿 中国 四国 九州	「試験地区」は原則として都道府県を単位とする。
① 高等学校等卒業見込者 (通信制課程を除く。)	原則として在学する高等学校等が所在する試験地区内の試験場	ただし、 北海道 埼玉県 千葉県 神奈川県 大阪府
② 高等学校卒業者等 (通信制課程卒業見込者を含む。)	原則として志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場	兵庫県 島根県 長崎県 鹿児島県 沖縄県 にあっては次ページの「試験地区区分表」で定めるとおりとする。
(3) 各入学志願者の試験場は、受験票に記載して通知します。		
(4) 指定された試験場以外での受験は認めません。		
(5) 出願後の現住所変更による、試験場の変更は認めません。		

## 試験地区区分表（試験地区名）

北海道	石狩支庁地区	千葉県	鳥取県
"	空知支庁地区	[埼玉県の一部を含む。]	[兵庫県の一部を含む。]
"	上川・宗谷・留萌 支庁地区	柏市, 我孫子市, 東 葛飾郡沼南町, 印旛 郡印西町は茨城県へ	島根県
"	後志支庁地区	[鹿足郡は山口県へ]	岡山県
"	檜山・渡島支庁 地区	流山市, 浦安市は東 京都へ	広島県
"	胆振・日高支庁 地区	[島根県の一部を含む。]	山口県
"	十勝支庁地区	埼玉県, 千葉県及び 神奈川県の一部を含 む。	徳島県
"	根室・釧路支庁 地区	神奈川県	香川県
"	網走支庁地区	[横浜市鶴見区・神奈 川区・西区・中区・ 南区・港北区・緑区 ・瀬谷区, 川崎市, 相模原市, 座間市は 東京都へ]	愛媛県
青森県	森	[長崎県の一部を含む。]	高知県
岩手県	手	佐賀県	福岡県
宮城県	城	長崎県	高崎
秋田県	田	[壱岐郡, 対馬支庁は 福岡県へ]	知
山形県	形	新潟県	福岡県
福島県	島	富山県	本
茨城県	城	石川県	県
	[千葉県の一部を含む。]	福井県	大分県
栃木県	木	山梨県	宮崎県
	[埼玉県の一部を含む。]	長野県	鹿児島県
群馬県	馬	岐阜県	[大島郡和泊町・知名 町・与論町は沖縄県 へ]
	[埼玉県の一部を含む。]	静岡県	沖縄県 那覇地区
埼玉県	玉	愛知県	[那覇市, 石川市, 具 志川市, 宜野湾市, 浦添市, 名護市, 糸 満市, 沖縄市, 国頭 郡, 中頭郡, 島尻郡]
	[久喜市, 蓼田市, 幸 手市, 南埼玉郡白岡 町, 北葛飾郡鶴巣町 は栃木県へ]	大阪府	[鹿児島県の一部を含む。]
	[行田市, 本庄市, 深 谷市は群馬県へ]	枚方市, 寝屋川市,	宮古地区
	[春日部市, 越谷市は 千葉県へ]	交野市は京都府へ	[平良市, 宮古郡]
	[川口市, 秩父市, 所 沢市, 飯能市, 東松 山市, 狹山市, 草加 市, 入間市, 和光市, 新座市, 上福岡市, 坂戸市, 鶴ヶ島市, 日高市, 入間郡, 比 企郡, 秩父郡は東京 都へ]	兵庫県	石垣地区
		[城崎郡香住町, 美方 郡村岡町・浜坂町・ 美方町・温泉町は鳥 取県へ]	[石垣市, 八重山郡]
		奈良県	
		和歌山县	

## 5 受験教科・科目成績の大学入試センター試験利用大学への提供方法

(1) 大学入試センター試験を利用する各大学は、大学入試センター試験の出題教科・科目の中から、入学志願者に解答させる教科・科目及びその利用方法を定めています。各入学志願者は、志望する大学の募集要項等によって、これらを確認の上、受験してください。

(2) 大学入試センターは、大学入試センター試験を利用する各大学からの請求に基づき、請求した大学が入学者選抜に利用すると指定している教科・科目のうち当該大学の入学志願者が受験しているすべての教科・科目の試験成績を、請求した各大学に対して提供します。

なお、国語の特定分野を利用する大学へは、国語の分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の成績も提供します。

(3) 大学入試センター試験利用大学の教科・科目の指定と、指定された教科・科目数を超えて受験した場合における成績提供及び各大学における成績の利用方法を例示すると、次のとおりです。

志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績の提供	利 用 方 法
「国語」、「社会」、「外国語」の3教科から1教科選択	当該大学を志願した受験者が「国語」、「社会」、「外国語」を受験していれば、この3教科の全部の成績	いずれの教科・科目が選抜に利用されるかについては、大学の募集要項等で確認してください。
物理、化学、生物の3科目から1科目選択	当該大学を志願した受験者が物理と化学を受験していれば、この2科目の成績	

(4) 2教科以下の受験として出願した者の成績提供について  
ア 2教科以下の受験として出願した者の成績提供についても、基本的には上記(1)～(3)のとおりです。

イ 2教科以下の受験として出願した者が、誤って3教科以上を受験していた場合は、受験した教科のうちから試験時間割順に二つまでの教科を、当該志願者の「受験した教科」として成績を提供します。

## 6 追試験及び再試験の実施

### ① 追試験の実施

ア 追試験の対象者

- ① 疾病・負傷により試験を受験できない者
- ② 試験場に向かう途中の事故により試験を受験できない者
- ③ その他やむを得ない事由により試験を受験できない者

イ 実施期日は、平成6年1月22日（土）、23日（日）とします。  
ただし、この期日より後に②の再試験を実施する必要が生じた場合は、再試験と同一の期日に実施します。

- ウ 試験時間及び試験教科・科目等は18ページのとおりです。  
 エ 追試験の試験場は、全国を2地区に分け地区ごとに1か所設定します。  
 なお、地区別の試験場は受験票を送付する際同封する「受験上の注意」に明示します。  
 オ 追試験の受験申請  
 本人又は代理人が、「受験票」に記載されている「問い合わせ大学」に行き申請してください。申請の受付時間、申請方法等の詳細については「受験上の注意」に明示します。

## (2) 再試験の実施

- ア 再試験は、雪・地震等による災害その他の事情により、本試験が所定の期日に実施できないか又は完了しなかった場合に実施します。なお、この再試験についての追試験はありません。  
 イ 再試験の実施期日は、平成6年1月22日(土)、23日(日)とし、当日の実施が不可能な場合は、この期日より後にできるだけ速やかに実施します。

## 7 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置

### (1) 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置

ア 大学入試センター試験では、次表に掲げる身体に障害のある入学志願者(これに準ずる者を含む。)のために、その障害の種類・程度に応じ、点字による出題、マーク方式によらない解答の方法、試験時間の延長、特定試験室の設定等の特別措置(詳しくは「受験案内(別冊)」に掲載)を行うこととしています。

区分	身体障害の程度
盲者 〔強度の弱視者を含む。〕	1 両眼の矯正視力が0.1未満のもの 2 両眼の矯正視力が0.1以上0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、点字による教育を必要とするもの又は将来点字による教育を必要とすることとなると認められるもの
聾者 〔強度の難聴者を含む。〕	1 両耳の聴力レベルが100デシベル以上のもの 2 両耳の聴力レベルが100デシベル未満60デシベル以上のもののうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1 体幹の機能の障害が体幹を支持することが不可能又は困難な程度のもの 2 上肢の機能の障害が筆記をすることが不可能又は困難な程度のもの 3 下肢の機能の障害が歩行をすることが不可能又は困難な程度のもの 4 前3号に掲げるもののほか、肢体の機能の障害がこれらと同程度以上のもの 5 肢体の機能の障害が前各号に掲げる程度に達しないもののうち、6月以上の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者 〔身体虚弱者を含む。〕	1 慢性の胸部疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が6月以上の医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が6月以上の生活規制を必要とする程度のもの

(注) 学校教育法施行令第22条の2の規定に準拠した。

イ 特別措置を希望する場合は、出願時に「身体障害者受験特別措置申請書」(「受験案内(別冊)」に折り込まれている。)等を提出してください。大学入試センターで審査の上、特別措置を決定します。

ウ 日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定や他の特別措置との関係から特別措置として申請する必要ですので注意してください。

なお、出願締切後に申請した場合は、申請内容によっては対応が直ちにできないものがあるため、特別措置が認められないことがありますので十分注意してください。

エ 特別措置を申請するには、「受験案内(別冊)」が必要となります。この「別冊」は、大学等では配付していないので、次の要領により、できるだけ早く大学入試センターに請求してください。

請求方法	郵便はがき(表面に「受験案内(別冊)請求」と朱書)又は電話
請求先	〒153 東京都目黒区駒場2丁目19-23 大学入試センター事業第一課 問合せ専用電話 (03) 3465-8600 (月曜日～金曜日 9時30分から17時、祝日は除く)
記載を要する事項	氏名(フリガナ)、現住所、連絡電話番号、在学(又は出身) 学校名等

### (2) 志望大学との事前相談

身体の障害の種類・程度によっては、大学・学部等において受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、入学を志望する大学と連絡をとって、その大学へ出願する前に十分相談してください。

ただし、体幹及び両上下肢の機能障害が著しい者で、代筆解答を希望する者は、大学入試センター試験出願以前のできるだけ早い時期に入学を志望する大学と緊密な相談を行ってください。

なお、代筆解答を希望しない者については、大学入試センター試験の出願の際には、入学を志望する大学との事前相談は必要ありません。

また、志望大学との相談の時期等については、当該大学の募集要項などで確かめてください。

## 8 出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者等の受験特別措置

(1) 出願受付締切後の不慮の事故等のため特別措置を希望する者にも、大学入試センターで審査の上、身体に障害のある入学志願者に準じた特別措置を行います。

(2) 不慮の事故等のため特別措置を希望する場合は、速やかに本人又は代理人が「受験票」及び「医師の診断書」を持参の上、受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学に行き申請してください。

なお、申請が試験開始の直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する特別措置が行えないこともあります。ご了承ください。

## 9 受験に当たつての主な注意事項

### (1) 試験当日の注意事項

- ア 試験場は受験票で指定しますので指定された試験場で受験してください。  
指定された試験場以外での受験は認められません。
- イ 受験票及び写真票は、試験当日必ず持参してください。
- ウ 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- エ 遅刻の理由が事故等で、追試験の受験を希望する場合は、係員に申し出てください。  
(23~24ページ参照)
- エ 自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止します。

### (2) 試験時間中の注意事項

- ア 解答用紙の所定欄に受験番号、氏名、試験場コード、解答科目等を監督者の指示に従い、必ずマーク、記入してください。  
受験番号又は解答科目等を正しくマークしていない場合は、採点できないことがあります。
- イ 解答には、必ず「黒鉛筆(H, F, HBのいずれでもよい。)」「プラスチック製の消しゴム」を使用してください。  
「H, F, HBの黒鉛筆以外のもの」及び「シャープペンシルなど」を使用して解答した場合には、解答が読み取れないおそれがありますので、使用しないでください。
- ウ 「定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)」「コンパス」「そろばん」「電卓」等の補助具は使用できません。
- エ 監督者の指示等が聞き取れないので、「耳せん」は使用できません。

### (3) 試験終了時の注意事項

- 「解答やめ。鉛筆を置いてください。」と指示があった際は、直ちに解答をやめてください。この指示があった後は、いかなる理由があっても解答用紙の修正、加筆等は認められません。

(注) ここに記載した事項以外にも注意が必要な事項がありますので、受験票を送付する際同封する「受験上の注意」をよく読んでおいてください。

## 10 大学入試センター試験において、各選択科目間に著しい得点差が生じた場合の取扱い

### (1) 試験の実施結果により各受験者の素点を調整すること(以下「得点調整」という。)は、原則として行いません。

ただし、大学入試センター試験の本試験の実施結果において、万一、「社会」と「理科」の各選択科目間(ただし、「現代社会」と「理科Ⅰ」については、対象としない。)に極端な素点の差(平均点で30点程度の差を目安とする。)が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、大学入試センターにおいて、大学入試センター試験を利用する大学関係者、学識経験者等を構成員とする組織の審議を経て、適切な得点調整を行うことがあります。

### (2) 万一得点調整を行うこととなった場合には、平成6年1月22日(土)までに、調整の対象となる選択科目名及びその科目の素点と調整後の得点の換算表等を新聞等を通じて発表します。

### (3) 調整方式については、調整後の得点が受験者の学力を良く反映したものとなるよう、回帰得点の分布に基づく「等百分位点法」という方式を用います。

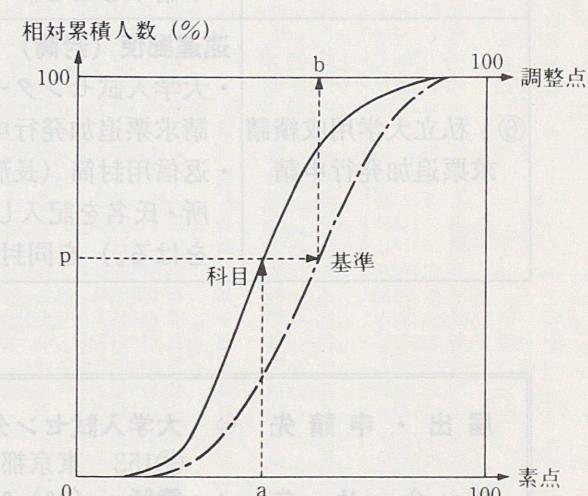
#### [参考]

回帰得点の分布に基づく「等百分位点法」について

対象とする教科の各科目について、科目素点の相対累積人数(科目百分位)を算定とともに、他教科の得点も総合した基準点の相対累積人数(基準百分位)を算定し、科目素点をその(科目)百分位に最も近い(基準)百分位を持つ基準点に変換し、これを調整点とする方法である(右図)。

例えば、素点がa点以下の人数の割合がp%であり、基準点がb点以下の人数の割合も同じくp%である場合、素点a点を調整点b点に変換する。

蓄積された過去のデータとこれまでの研究成果を利用して、対象教科の得点と他教科の得点との間の関係の回帰分析に基づき基準点を算出すれば、受験者の学力を相当程度反映させることができるとともに、等百分位点法によって素点はそれぞれに相応しい基準点にきめ細かく変換できる。



## IV 大学入試センターへの問合せ、届出等

### 大学入試センターへの問合せ、届出等

次の①～⑥について、問い合わせ又は届出をする場合は、参照ページをよく読んで、間違いないよう行ってください。

事由	問合せ、届出方法	参照ページ
① 出願資格（証明書類）及び志願票等記入方法の問合せ	下記問合せ先電話	斜線
② 検定料「納付書・領収証書」	紛失 誤記入 又は未記入 速達郵便はがき ・はがきの表面に「納付書誤記入又は未記入届出」と朱書すること。	6～8ページ参照
③ 出願後の氏名、現住所、連絡電話番号の変更届出	速達郵便はがき ・はがきの表面に「・・・変更届出」と朱書すること。	13ページ参照
④ 確認はがき不着届出	下記問合せ先電話	14ページ参照
⑤ 受験票等再発行申請	速達郵便（封筒） ・大学入試センターあての封筒の表面に「受験票等再発行申請」と朱書すること。 ・返信用封筒（長形3号：縦23.5cm、横12cm、表面に現住所・氏名を記入し、632円切手「書留・速達料金を含む。」をはる。）を同封すること。 ・大学入試センター試験終了後は、写真と署名を必ず同封すること。 ・受験票等が届かない場合（不着）は、「はがき」で再発行申請すること。	15～16ページ参照
⑥ 私立大学用成績請求票追加発行申請	速達郵便（封筒） ・大学入試センターあての封筒の表面に「私立大学用成績請求票追加発行申請」と朱書すること。 ・返信用封筒（長形3号：縦23.5cm、横12cm、表面に現住所・氏名を記入し、632円切手「書留・速達料金を含む。」をはる。）を同封すること。	17ページ参照

届出・申請先 ⇒ 大学入試センター事業第一課

⑩153 東京都目黒区駒場2丁目19-23

問合せ先 ⇒ 電話 (03) 3465-8600

月曜日～金曜日 9時30分から17時、祝日は除く

電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行うこと。

## V 参考資料

参考資料	
A	1
B	2
C	3
D	4
E	5
F	6
G	7
H	8
I	9
J	10
K	11
L	12
M	13
N	14
O	15
P	16
Q	17
R	18
S	19
T	20
U	21
V	22
W	23
X	24
Y	25
Z	26

## V 参考資料

### 1 高等学校等コード表

### 2 平成6年度大学入試センター試験利用大学

#### 入学者選抜実施日程

### 3 平成6年度大学入試センター試験利用大学

#### 一覧



















み 美 咲 養 譲 47455A
宮 古 養 譲 47458E
も 森 川 養 譲 47462C
や 八 重 山 養 譲 47460G
私 立 (高等学校)
お 沖 縄 尚 学 47501H
沖縄女子短期大学附 47504B
こ 興 南 47503D
し 昭和薬科大学附属 47505A
上記以外の高等学校等 47999D

## (2) 大学入学資格検定、外国の学校等、文部大臣の指定、認定及び在外教育施設

大 檢 51000K	「大検」とは、大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部大臣が行う大学入学資格検定に合格した者及び平成6年3月31日までに合格見込みの者
外 国 52000E	「外国」とは、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成6年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの
指 定 53000A	「指定」とは、文部大臣の指定した者
認 定 54000F	「認定」とは、その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
在外認定 55000A	「在外認定」とは、文部大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成6年3月31日までに修了見込みの者

## 2 平成6年度大学入試センター試験利用大学入学者選抜実施日程

### (1) 国公立大学

入学者選抜要項発表	平成5年 7月31日（土）まで
募集要項発表	12月15日（水）まで
推薦入学（大学入試センター試験を課さない場合）の結果発表（実施大学だけ）	平成6年 1月21日（金）まで
<b>出願受付</b>	1月24日（月）から 2月1日（火）まで
2段階選抜（A日程、B日程及び前期日程）と推薦入学（大学入試センター試験を課す場合）の結果発表（実施大学だけ）	2月10日（木）まで
<b>A日程・前期日程の国公立大学が試験実施</b>	2月25日（金）から
2段階選抜（後期日程）の結果発表（実施大学だけ）	3月2日（水）まで
<b>B日程の国公立大学が試験実施</b>	3月5日（土）以降
<b>C日程群の公立大学が試験実施</b>	3月8日（火）以降
前期日程の国公立大学が合格者発表	3月6日（日）から 3月10日（木）まで
<b>後期日程の国公立大学が試験実施</b>	3月12日（土）以降
A日程の国公立大学が合格者発表	3月6日（日）から 3月23日（水）まで
B日程・後期日程の国公立大学及びC日程群の公立大学が合格者発表	3月18日（金）から 3月23日（水）まで

(注) ① 国立大学の試験実施期日については、例外の取り扱いも認められているので、各大学の募集要項等で確かめてください。  
 ② 公立大学の実施日程は、一部の公立大学においては上表と異なる場合があるので注意してください。  
 ③ 私立産業医科大学の実施日程は、国立大学とほぼ同じです。  
 ④ 2段階選抜（後期日程）の結果の発表期日については、大学によっては、上表と異なる場合があるので、各大学の募集要項等で確かめてください。

### (2) 私立大学

大学入試センター試験を利用する私立大学の入学者選抜の実施日程については、大学入試センター試験の実施前に出願受付をする大学や2月以降に出願受付をする大学など様々です。それぞれの実施日程は、各大学の募集要項等で確かめてください。

### 3 平成6年度大学入試センター試験利用大学一覧

大学入試センター試験を利用する各大学の入学者選抜試験等についての問い合わせ先是、次表のとおりです。

#### 〔国立大学95大学〕(全大学・学部が利用)

大学名	所在地	電話番号(内線番号)
北海道大学	⑨060 札幌市北区北8条西5丁目	(011)716-2111 3961~2
北海道教育大学	札幌校 ⑨002 札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号	(011)778-8811 309・310
	函館校 ⑨040 函館市八幡町1番2号	(0138)41-1121 218~220
	旭川校 ⑨070 旭川市北門町9丁目	(0166)51-6151 220~2・256
	釧路校 ⑨085 釧路市城山1丁目15番55号	(0154)41-6161 200・235
	岩見沢校 ⑨068 岩見沢市緑が丘2丁目34番地の1	(0126)22-1470 226~7
室蘭工業大学	⑨050 室蘭市水元町27番1号	(0143)44-4181 2484
小樽商科大学	⑨047 小樽市緑3丁目5番21号	(0134)23-1101 537
帯広畜産大学	⑨080 帯広市稻田町西2線11番地	(0155)48-5111 445
旭川医科大学	⑨078 旭川市西神楽4線5号3-11	(0166)65-2111 2214
北見工業大学	⑨092 北見市公園町165番地	(0157)24-1010 247
弘前大学	⑨036 弘前市文京町1	(0172)36-2111 2392~3
岩手大学	⑨020 盛岡市上田3丁目18番8号	(0196)23-5171 2251
東北大学	⑨980 仙台市青葉区片平2丁目1番1号	(022)227-6200 3204~5
宮城教育大学	⑨980 仙台市青葉区荒巻字青葉	(022)214-3334
秋田大学	⑨010 秋田市手形学園町1番1号	(0188)33-5261 2256
山形大学	⑨990 山形市小白川町1丁目4-12	(0236)31-1421 2095
福島大学	⑨960-12福島市松川町浅川字直道2番地	(0245)48-5151 2266~7
茨城大学	⑨310 水戸市文京2丁目1番1号	(0292)26-1621 253~4
図書館情報大学	⑨305 つくば市春日1丁目2番地	(0298)52-0511 235~6
筑波大学	⑨305 つくば市天王台1丁目1番地の1	(0298)53-6007
宇都宮大学	⑨321 宇都宮市峰町350番地	(0286)36-1515 621
群馬大学	⑨371 前橋市荒牧町4丁目2番地	(0272)32-1611 321~2
埼玉大学	⑨338 浦和市下大久保255	(048)858-2008
千葉大学	⑨263 千葉市稲毛区弥生町1番33号	(043)251-1111 2124
東京大学	⑨113 文京区本郷7丁目3番1号	(03)3812-2111 2082~4
東京医科大学	⑨113 文京区湯島1丁目5番45号	(03)3813-6111 2256
東京外国语大学	⑨114 北区西ヶ原4丁目51番21号	(03)3917-6111 315
東京学芸大学	⑨184 小金井市貫井北町4丁目1-1	(0423)25-2111 2254・2268
東京農工大学	⑨183 府中市晴見町3丁目8-1	(0423)64-3311 539
東京芸術大学	⑨110 台東区上野公園12-8	(03)3828-6111 267
東京工業大学	⑨152 目黒区大岡山2丁目12番1号	(03)3726-1111 2066~7
東京船舶大学	⑨135 江東区越中島2丁目1番6号	(03)5245-7345
東京水産大学	⑨108 港区港南4丁目5番7号	(03)3471-1251 226

大学名	所在地	電話番号(内線番号)
お茶の水女子大学	⑨112 文京区大塚2丁目1番1号	(03)3943-3151 291~2
電気通信大学	⑨182 調布市調布ケ丘1丁目5番地1	(0424)83-2161 2544
一橋大学	⑨186 国立市中2-1	(0425)72-1101 2322~3
横浜国立大学	⑨240 横浜市保土ヶ谷区常盤台156	(045)335-1451 2045・2345
新潟大学	⑨950-21新潟市五十嵐二の町8050番地	(025)262-6098 6079
長岡技術科学大学	⑨940-21長岡市上富岡町1603-1	(0258)46-6000 2179
上越教育大学	⑨943 上越市山屋敷町1番地	(0255)22-2411 293~4
富山大学	⑨930 富山市五福3190番地	(0764)41-1271 2497・2696
富山医科薬科大学	⑨930-01富山市杉谷2630番地	(0764)34-2281 2148~9
金沢大学	⑨920 金沢市丸の内1番1号	(0762)62-4281 290
福井大学	⑨910 福井市文京3丁目9番1号	(0776)23-0500 2248
福井医科大学	⑨910-11福井県吉田郡松岡町下合月23-3	(0776)61-3111 2150
山梨大学	⑨400 甲府市武田4丁目4-37	(0552)52-1111 2415
山梨医科大学	⑨409-38山梨県中巨摩郡玉穂町下河東1110番地	(0552)73-1111 2097
信州大学	⑨390 松本市旭3丁目1番1号	(0263)35-4600 2274
岐阜大学	⑨501-11岐阜市柳戸1番1号	(0582)30-1111 2352~3
静岡大学	⑨422 静岡市大谷836	(054)237-1111 2650~2
浜松医科大学	⑨431-31浜松市半田町3600番地	(053)435-2205
名古屋大学	⑨464-01名古屋市千種区不老町	(052)781-5111 3672
愛知教育大学	⑨448 刈谷市井ヶ谷町広沢1	(0566)36-3111 279・280
名古屋工業大学	⑨466 名古屋市昭和区御器所町	(052)732-2111 2288
豊橋技術科学大学	⑨441 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1	(0532)47-0111 333
三重大学	⑨514 津市上浜町1515	(0592)31-9063
滋賀大学	⑨522 彦根市馬場1丁目1-1	(0749)27-1022 260
滋賀医科大学	⑨520-21大津市瀬田月輪町	(0775)48-2071
京都大学	⑨606-01京都市左京区吉田本町	(075)753-2523
京都教育大学	⑨612 京都市伏見区深草藤森町1	(075)641-9281 270~1
京都工芸繊維大学	⑨606 京都市左京区松ヶ崎橋上町	(075)724-7162
大阪大学	⑨565 吹田市山田丘1-1	(06)877-5111 2183~5・2187~8
大阪外国语大学	⑨562 箕面市粟生間谷東8-1-1	(0727)28-3111 106
大阪教育大学	⑨582 柏原市旭ヶ丘4-698-1	(0729)76-3211 2561~2
兵庫教育大学	⑨673-14兵庫県加東郡社町下久米942-1	(0795)44-1101 261~2
神戸大学	⑨657 神戸市灘区六甲台町1-1	(078)881-1212 2621~2
神戸商船大学	⑨658 神戸市東灘区深江南町5-1-1	(078)431-6225
奈良教育大学	⑨630 奈良市高畠町	(0742)27-9126
奈良女子大学	⑨630 奈良市北魚屋東町	(0742)20-3236
和歌山大学	⑨640 和歌山市栄谷930	(0734)54-0361 2415~6
鳥取大学	⑨680 鳥取市湖山町南4丁目101	(0857)31-5060

大学名	所在地	電話番号(内線番号)
島根大学	〒690 松江市西川津町1060	(0852)32-6073
島根医科大学	〒693 出雲市塩治町89-1	(0853)23-2111 2167
岡山大学	〒700 岡山市津島中3-1-1	(086)252-1111 7191~4
広島大学	〒730 広島市中区東千田町1丁目1-89	(082)241-1221 3814
山口大学	〒753 山口市大字吉田1677の1	(0839)22-6111 278
徳島大学	〒770 徳島市新蔵町2丁目24	(0886)22-5131 653
鳴門教育大学	〒772 鳴門市鳴門町高島	(0886)87-1311 271~2
香川大学	〒760 高松市幸町1-1	(0878)36-1641
香川医科大学	〒761-07香川県木田郡三木町大字池戸1750-1	(0878)98-5111 2253
愛媛大学	〒790 松山市文京町3番	(0899)24-7111 2189
高知大学	〒780 高知市曙町2丁目5-1	(0888)44-0111 8154
高知医科大学	〒783 南国市岡豊町小蓮	(0888)66-5811 2425
福岡教育大学	〒811-41宗像市大字赤間729	(0940)35-1235
九州大学	〒812 福岡市東区箱崎6-10-1	(092)641-1101 2341~2
九州芸術工科大学	〒815 福岡市南区塩原4丁目9-1	(092)553-4419
九州工業大学	〒804 北九州市戸畠区仙水町1-1	(093)871-1931 675
佐賀大学	〒840 佐賀市本庄町1	(0952)24-5191 2177
佐賀医科大学	〒849 佐賀市鍋島5丁目1番1号	(0952)31-6511 3130~1
長崎大学	〒852 長崎市文教町1-14	(0958)47-1111 2220~1
熊本大学	〒860 熊本市黒髪2丁目40-1	(096)344-2111 2145~6
大分大学	〒870-11大分市大字旦野原700番地	(0975)69-3311 259
大分医科大学	〒879-55大分県大分郡挿間町医大ヶ丘1丁目1番地	(0975)49-4411 2540
宮崎大学	〒889-21宮崎市学園木花台西1丁目1番地	(0985)58-2811 2540~1
宮崎医科大学	〒889-16宮崎県宮崎郡清武町大字木原5200	(0985)85-1510 2078
鹿児島大学	〒890 鹿児島市郡元1丁目21番24号	(0992)85-7355
鹿屋体育大学	〒891-23鹿屋市白水町1番地	(0994)46-4118 281
琉球大学	〒903-01沖縄県中頭郡西原町字千原1	(098)895-2221 2117

#### 〔公立大学46大学〕(全大学・学部が利用)

大学名	所在地	電話番号(内線番号)
札幌医科大学	〒064 札幌市中央区南1条西17丁目	(011)611-2111 2154
釧路公立大学	〒085 釧路市芦野4丁目1番1号	(0154)37-3211
青森公立大学	〒030-01青森市合子沢字山崎153-4	(0177)64-1555
会津大学	〒965 会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90番地	(0242)37-2600
福島県立医科大学	〒960-12福島市光が丘1番地	(0245)48-2111 2043
群馬県立女子大学	〒370-11群馬県佐波郡玉村町上之手1395番1	(0270)65-8511 209
高崎経済大学	〒370 高崎市上並木町1300	(0273)43-5417 219
東京都立大学	〒192-03八王子市南大沢1丁目1番地	(0426)77-1111 2213

大学名	所在地	電話番号(内線番号)
東京都立科学技術大学	〒191 日野市旭が丘6丁目6番地	(0425)83-5111 248-286
横浜市立大学	〒236 横浜市金沢区瀬戸22番2号	(045)787-2055
富山県立大学	〒939-03富山県射水郡小杉町黒河5180	(0766)56-7500
金沢美術工芸大学	〒920 金沢市小立野5丁目11番1号	(0762)62-3531 225
都留文科大学	〒402 都留市田原3丁目8番1号	(0554)43-4341 210
福井県立大学	〒910-11福井県吉田郡松岡町兼定島4-1-1	(0776)61-6000 1021~2
岐阜薬科大学	〒502 岐阜市三田洞東5丁目6-1	(0582)37-3931 212
静岡県立大学	〒422 静岡市谷田52番1号	(054)264-5007
愛知県立大学	〒467 名古屋市瑞穂区高田町3-28	(052)851-2191 205-298
愛知県立芸術大学	〒480-11愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1	(0561)62-1180 219
名古屋市立大学	〒467 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1	(052)851-5511 2128~9
京都市立芸術大学	〒610-11京都市西京区大枝沓掛町13-6	(075)332-0701 232
京都府立大学	〒606 京都市左京区下鴨半木町1番地	(075)781-3131 137
京都府立医科大学	〒602 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465	(075)251-5227
大阪女子大学	〒590 堺市大仙町2番1号	(0722)22-4811 215
大阪市立大学	〒558 大阪市住吉区杉本3-3-138	(06)605-2131
大阪府立大学	〒593 堺市学園町1番1号	(0722)52-1161 2785
兵庫県立看護大学	〒673 明石市北王子町13-71	(078)925-0860 206
神戸市外国语大学	〒651-21神戸市西区学園東町9-1	(078)794-8133~4
神戸商科大学	〒651-21神戸市西区学園西町8丁目2-1	(078)794-6161 2213~4
姫路工業大学	〒671-22姫路市書写2167	(0792)66-1661 220~1
奈良県立医科大学	〒634 橿原市四条町840	(07442)2-3051 2213~4
奈良県立商科大学	〒630 奈良市船橋町10	(0742)22-4978
和歌山県立医科大学	〒640 和歌山市九番丁27番地	(0734)31-2151 305
岡山県立大学	〒719-11総社市窪木111番地	(08669)4-2111 9835~6
広島女子大学	〒734 広島市南区宇品東1-1-71	(082)251-5178 222-226
広島県立大学	〒727 庄原市七塚町562	(08247)4-1000 1305~6
下関市立大学	〒751 下関市大学町2-1-1	(0832)52-0289 204
山口女子大学	〒753 山口市桜島3-2-1	(0839)28-0211 110~1
高知女子大学	〒780 高知市永国寺町5番15号	(0888)73-2156 176
北九州大学	〒802 北九州市小倉南区北方4-2-1	(093)962-4436 266
九州歯科大学	〒803 北九州市小倉北区真鶴2-6-1	(093)582-1131 409
福岡県立大学	〒825 田川市伊田4395	(0947)42-2118 224
福岡女子大学	〒813 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1	(092)661-2411 220
長崎県立大学	〒858 佐世保市川下町123	(0956)47-2191
熊本女子大学	〒862 熊本市健軍町水洗2432-1	(096)383-2929 203
宮崎公立大学	〒880 宮崎市船塚1丁目1-2	(0985)20-1222
沖縄県立芸術大学	〒903 那覇市首里当蔵町1-4	(098)831-5080

〔私立大学73大学123学部〕

大学・学部名	所 在 地	電話番号 (内線番号)
東日本学園大学 薬学部 歯学部 看護福祉学部	⑤061-02北海道石狩郡当別町金沢1757	(01332)3-1211 2172
北海道工業大学 工学部	⑤006 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1	(011)681-2161 550
八戸大学 商学部	⑤031 八戸市美保野13-98	(0178)25-2711 11
八戸工業大学 工学部	⑤031 八戸市大字妙字大開88番地1号	(0178)25-3111 2228
東北工業大学 工学部	⑤982 仙台市太白区八木山香澄町35-1	(022)229-1151
足利工业大学 工学部	⑤326 足利市大前町268-1	(0284)62-0605 399
白鷗大学 経営学部 法学部	⑤323 小山市大行寺1117	(0285)22-1111 530
関東学園大学 経済学部 法学部	⑤373 太田市藤阿久200番地	(0276)31-2711 510・516
駿河台大学 法学部 経済学部	⑤357 飯能市阿須698	(0429)72-1111 1921
江戸川大学 社会学部	⑤270-01流山市駒木474番地	(0471)52-0661
淑徳大学 社会学部	⑤260 千葉市中央区南町2-15-3 淑徳大学千葉エクステンションセンター内	(043)265-6881
聖徳大学 人文学部	⑤271 松戸市相模台531番地	(0473)65-1111 3152
千葉工業大学 工学部一部	⑤275 習志野市津田沼2丁目17-1	(0474)78-0222
亞細亞大学 経営学部 法学部 国際関係学部	⑤180 東京都武蔵野市境5-24-10	(0422)54-3111 2285
大妻女子大学 社会情報学部	⑤206 多摩市上小山田町9番1号	(0423)72-9111
桜美林大学 文学部 経済学部 国際学部	⑤194-02町田市常盤町3758	(0427)97-2661 228~230
杏林大学 社会科学院	⑤192 八王子市宮下町476	(0426)91-0012 2012
慶應義塾大学 法医学部	⑤108 港区三田2丁目15-45 ⑤160 新宿区信濃町35	(03)3453-4511 (03)3353-1211
国士館大学 政経学部一部 工学部 法学部 文学部	⑤154 世田谷区世田谷4-28-1	(03)5481-3211
昭和女子大学 文学部 家政学部	⑤154 世田谷区太子堂1-7-57	(03)3411-5111 3333
拓殖大学 工学部	⑤112 文京区小日向3-4-14	(03)3947-2261 1311
多摩大学 経営情報学部	⑤206 多摩市聖ヶ丘4-1-1	(0423)37-7111
東京工科大学 工学部	⑤192 八王子市片倉町1404-1	(0426)37-2111
東京薬科大学 薬学部	⑤192-03八王子市堀之内1432-1	(0426)76-5112

大学・学部名	所 在 地	電話番号 (内線番号)
東京理科大学 理学部第一部 薬学部 工学部第一部 理工学部 基礎工学部 経営学部	⑤162 新宿区神楽坂1-3 " " " ⑤278 野田市山崎2641 " " ⑤346 久喜市下清久500番地	(03)3260-4271 1636 " " (0471)24-1501 2116 " " (0480)21-7600 512
東邦大学 理学部	⑤274 船橋市三山2-2-1	(0474)72-7119
東洋大学 工学部	⑤350 川越市大字鯨井字中野台2100	(0492)31-1213
日本大学 国際関係学部 生産工学部	⑤411 三島市文教町2-31-145 ⑤275 習志野市泉町1-2-1	(0559)86-5500 209 (0474)74-2220・2224
日本歯科大学 歯学部 新潟歯学部	⑤102 千代田区富士見1-9-20 ⑤951 新潟市浜浦町1-8	(03)3261-8311 (025)267-1500
日本社会事業大学 社会福祉学部	⑤204 清瀬市竹丘3-1-30	(0424)92-6111
武蔵工業大学 工学部	⑤158 世田谷区玉堤1-28-1	(03)3703-3111 229・608・224
桐蔭学園横浜大学 工学部 法学部	⑤225 横浜市緑区鉄町1614番地	(045)972-5881 7766
東洋英和女学院大学 人文学部	⑤226 横浜市緑区三保町32-1	(045)922-5511 455
敬和学園大学 人文学部	⑤957 新発田市大字富塚字三賀境1270番地	(0254)26-3636 400
新潟産業大学 経済学部	⑤945-13柏崎市軽井川4730	(0257)24-8436
高岡法科大学 法学部	⑤939-11高岡市戸出石代307-3	(0766)63-3388
福井工業大学 工学部	⑤910 福井市学園3-6-1	(0776)22-8111 326~7
山梨学院大学 法学部 商学部	⑤400 甲府市酒折2-4-5	(0552)24-1300~5・1234
聖隸クリストファー看護大学 看護学部	⑤433 浜松市三方原町3453	(053)439-1400
常葉学園大学 教育学部 外国語学部	⑤420 静岡市瀬名1000	(054)263-1125
常葉学園浜松大学 経営情報学部	⑤431-21浜松市都田町1230	(053)428-3511
愛知大学 経済学部一部 経営学部	⑤461 名古屋市東区筒井2丁目10-31	(052)937-8113
愛知工業大学 工学部一部	⑤470-03豊田市八草町八千草1247	(0565)48-8121 125・197~8
愛知淑徳大学 文芸学部	⑤480-11愛知県愛知郡長久手町大字長湫字平9	(0561)62-4111 237
楫山女子学園大学 生活科学部 文学部 人間関係学部	⑤464 名古屋市千種区星が丘元町17-3 " " ⑤470-01愛知県愛知郡進町大字岩崎字竹之山37-234	(052)781-1186 539 " " (05617)4-1186 104
中京女子大学 体育学部 家政学部	⑤474 大府市横根町名高山55	(0562)46-1291
豊田工業大学 工学部	⑤468 名古屋市天白区久方2丁目12	(052)802-1111 251
名城大学 法学部一部 理工学部一部 薬学部	⑤468 名古屋市天白区塩釜口1-501	(052)832-1151 2220~1

大学・学部名	所 在 地	電話番号 (内線番号)
松 阪 大 学 政治経済学部	⑤515 松阪市久保町1846	(0598)29-1122
京 都 橋 女 子 大 学 文 学 部	⑤607 京都市山科区大宅山田町34	(075)571-1111 223
立 命 館 大 学 法学部第一部 経済学部第一部 経営学部第一部 理工学部 国際関係学部	⑤603 京都市北区等持院北町56番地の1 " " " " " " " " " " " " " " " "	(075)465-1111 2321 " " 2411 " " 2421 " " 2431 " " 2461 " " 4221
龍 谷 大 学 文 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部 法 学 部 理 工 学 部 社 会 学 部	⑤612 京都市伏見区深草塚本町67 " " " " " " " " " " " " " "	(075)642-1111 " " " " " " " " " " " " " " "
大 阪 電 気 通 信 大 学 工 学 部	⑤572 寝屋川市初町18-8	(0720)24-1131 3220~1
関 西 外 国 語 大 学 外 国 語 学 部	⑤573 枚方市北片鉢町16-1	(0720)56-9350
近 織 大 学 農 学 部 工 学 部 生物理工学部 九州工学部	⑤631 奈良市中町3327-204 ⑤729-17東広島市高屋うめの辺1番 ⑤649-64和歌山県那賀郡打田町西三谷930 ⑤820 飯塚市柏の森11の6	(0742)43-1511 2019 (0824)34-7000 111 (0736)77-3888 2019 (0948)22-5655 120
相 愛 大 学 人 文 学 部	⑤559 大阪市住之江区南港中4丁目4番1	(06)612-5900 301
阪 南 大 学 商 学 部 経 济 学 部	⑤580 松原市天美東5丁目4番33号	(0723)32-1224 3131
神 戸 国 際 大 学 経 济 学 部	⑤655 神戸市垂水区学が丘5-1-1	(078)709-3851 212
松 蔭 女 子 学 院 大 学 文 学 部	⑤657 神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1	(078)882-6123
流 通 科 学 大 学 商 学 部	⑤651-21神戸市西区学園西町3-1	(078)794-3510 210
作 韶 音 楽 大 学 音 楽 学 部	⑤708 津山市八出1334-1	(0868)24-1811 186
美 作 女 子 大 学 政 学 部	⑤708 津山市上河原32	(0868)22-7310
広 島 工 業 大 学 工 学 部 環 境 学 部	⑤731-51広島市佐伯区三宅2丁目1-1	(0829)21-3121 252
松 山 大 学 経 济 学 部 経 営 学 部	⑤790 松山市文京町4番地2	(0899)25-7111 318
松 山 東 雲 女 子 大 学 人 文 学 部	⑤790 松山市桑原3丁目2番1号	(0899)31-6211 601
九 州 共 立 大 学 経 济 学 部 工 学 部	⑤807 北九州市八幡西区自由ヶ丘1番8号	(093)691-3331 256
九 州 国 際 大 学 法経学部第一部	⑤805 北九州市八幡東区枝光5丁目9番1号	(093)671-8916
久 留 米 大 学 法 学 部	⑤830 久留米市御井町1635	(0942)44-2160
产 業 医 科 大 学 医 学 部	⑤807 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1	(093)691-7295
福 岡 工 業 大 学 工 学 部	⑤811-02福岡市東区和白東3-30-1	(092)606-3131 2231~2
九 州 東 海 大 学 工 学 部 農 学 部	⑤862 熊本市渡鹿9-1-1 ⑤869-14熊本県阿蘇郡長陽村河陽	(096)382-1141 1508 " "
熊 本 工 業 大 学 工 学 部	⑤860 熊本市池田4-22-1	(096)326-3111 1415
熊 本 商 科 大 学 商 学 部一部 経 济 学 部	⑤862 熊本市大江2-5-1	(096)364-5161 1145

## 志望する大学の募集要項等で確認が必要なこと

- 志望大学が指定している大学入試センター試験の解答教科・科目  
(「現代社会」「理科I」「工業数理」「簿記会計I・II」等の科目を解答できる者を制限している場合があります。) (20, 23ページ参照)
- 志望大学における大学入試センター試験の成績の取扱い  
(大学が指定している教科・科目数を超えて受験した場合の取扱いを含む。) (23ページ参照)
- 志望大学の選抜実施日程 (48ページ参照)
- 志望大学へ出願する際に提出する「成績請求票」の種類等 (17ページ参照)
- 志望大学を受験する際の「大学入試センター試験受験票」の取扱い (16ページ参照)
- 身体に障害のある入学志願者の志望大学との事前相談の時期等 (25ページ参照)



非売品

大学入試センター

10月27日以降の消印で郵送されたものは受理しないので注意してください。折らずに封筒に入れてください。

## 平成6年度大学入学者選抜大学入試センター試験

### 志願票 〔提出用〕

①高等学校等コード  
(「高等学校等コード表」により記入)

2						
1	2	3	4	5	6	7
出身学校名						
高等学校 学 校						

高等学校記入欄

③整理番号  
(高等学校単位に一連番  
(号を右につめて記入)

②	身体障害者 受験特別措置
希望	8

④受験教科数
1 2教科以下受験
13

⑤カタカナ記入(姓と名の間は、1コマをあけ、濁点及び半濁点は1コマとする。)
氏名
14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
⑥漢字等記入(かい書で丁寧に記入すること。)
名

⑦性別
男 1 女 2
52

⑧生年月日
年号 年 月 日
M 明治 T 大正 S 昭和
53 54 55 56 57 58 59

⑨連絡電話番号 (自宅、下宿、寮等)
██

出願資格											
高等学校卒業者(卒業見込者を含む。)											
⑩課程	⑪学科	⑫卒業見込・卒業の別	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯
1 全日制	2 定時制	3 通信制	1 普通科	2 理数科	3 農業科	4 工業科	5 商業科	6 1外の学 5科目	1 卒業見込	2 卒業	⑬卒業した年
75	76	77	78	79	80						

現住所	記入しないこと 高等学校等卒業見込者(通信制課程を除く。)は、 は、	漢字等 記入	⑯(郵便番号) (都道府県名) (区・町村名) (町・丁目・番地・団地・棟・号) (方)
			⑯(1コマに1字ずつ記入し、濁点及び 半濁点は1コマとして使用する。)
⑯	都道府 県名 郡・市・区 ・町村名 町・丁目・ 番地・団地 ・棟・号 方等		

別冊子の試験問題配付希望		受験希望教科・科目															
⑰数学	⑱外国語	⑲	⑳社会	㉑数学	㉒理科	㉓外国語											
工業 數理	簿記会計 I II	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	国 語	倫政 治・ 經 濟 理 語	日本 史	世 界 史	地 理	現 代 社 會	數 學 I	數 學 II	物 理	地 理 學	化 學	理 科 I	生 物	英 語
1	2	1	2	1	1	2	3	4	5	1	1	1	2	1	2	1	1
176	177	178	179	180	181	182	183	184	185								

(注)記入に当たっては、まず8~9ページの記入上の注意及び10ページの志願票の記入例を参照し、11ページの「志願票控」に記入してみて誤りがないことを確認してから記入してください。

## \* 検定料の「納付書・領収証書」のはり付け欄

納付書・領収証書（領収日付印のあるもの）の裏面（全面）に「のり」をつけて、はがれないようにはり付けてください。

見本[記入例]

(注意) 検定料を納付せずに出願しても、受理しません。

検定料納付方法は  
6~8ページ参照

入学志願者本人の氏名  
を記入してください。  
フリガナも必ず記入し  
てください。

納付書・領収証書		国 庫 金
(納入者) № 0000000		平成 5 年度 国立学校特別会計(0254) 文部省所管
※現住所 〒193 東京都八王子市千人町5丁目 19-23 青葉マンション3号室 山田三郎方		取扱庁名 大学入試センター (55300)
※ フリガナ アオ バ カオル		授業料及入学検定料 授業料及入学検定料 入学料及検定料
氏名 青葉 薫 殿		納付金額 万 千 百 十 円 ¥ 1 4 0 0 0
※ 高等学校等コード / 3 2 6 / G		上記の金額を 納付目的 大学入試センター試験検定料 (3教科以上受験用) 納付期限 平成 5 年 10 月 26 日 限り
注意 1. 納付金額を納付するときは、※印のところを明りょうに記入し、納付場所に納付して下さい。なお、高等学校等コードは、受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入して下さい。 2. 納付期限後に納付することはできません。 3. 納付したときは、必ず領収証書を受け取って下さい。		納付場所 日本銀行本店、支店、代理店 又は歳入代理店 郵便局
(注) この納付書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付場所に提出して下さい。		上記の金額を 領収しました。 (領収日付印) 

(注) 受験する教科数によって検定料の納付金額が異なります。

- 3教科以上を受験する場合は、3教科以上受験用（納付金額14,000円）の「納付書・領収証書」をはり付けてください。
- 2教科以下を受験する場合は、2教科以下受験用（納付金額9,000円）の「納付書・領収証書」をはり付けてください。

出願が受理された後は、受験教科数を変更することができないので十分注意してください。

(「郵便物を郵便局へ送付する方法」  
郵便局へ郵便物を送付する方法。  
郵便物を郵便局へ送付する方法。

100-□□

切手 480 円  
をはり付け  
てください。  
(50 g まで)

東京都千代田区丸の内二丁目七番二号  
東京中央郵便局留置

大学入試センター  
事業第一課 行

書留

大学入試センター試験  
出願書類在中

書留引受番号

志願者	住所	〒
	氏名	
	出願資格 <small>(該当する資格を○で 囲んでください。)</small>	高校卒業・大検・外国・指定・認定・在外認定・高専3年

(高等学校等卒業見込者は、高等学校等を経由して出願することになっている  
ので、この封筒を使用して個人で提出してはいけません。)

次の書類が封入されているか確認の上、郵送してください。

平成 6 年度大学入試センター試験志願票・検定料納付済の「納付書・領収証書」  
(志願票の裏面の所定欄にはり付けてください。)

出 願 資 格 証 明 書 類	高等学校卒業証明書 又は 高等学校以外の学校等の修了（見込み）証明書
	大学入学資格検定合格証書を複写（コピー）したもの又は合格証明書（大学入学資格検定合格者）又は 平成 5 年度大学入学資格検定受検票を複写（コピー）したもの等（大学入学資格検定合格見込みの者）
身 体 に 障 害 の あ る 入 学	身体障害者受験特別措置申請書 及び 医師の診断書（詳細は受験案内（別冊）参照）

（注）この封筒は 1 名分のみとし、2 名分以上を封入しないでください。

## 納付書・領収証書

## 国 庫 金

(納入者)	No. 0372902
※ 現住所 〒	
※ フリガナ	
氏名	殿
※ 高等学校等コード	□□□□

## 注意

1. 納付金額を納付するときは、※印のところを明りょうに記入し、納付場所に納付して下さい。なお、高等学校等コードは、受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入して下さい。
2. 納付期限後に納付することはできません。
3. 納付したときは、必ず領収証書を受け取って下さい。

◎ この納付書は、3枚1組の複写式となっておりますから、3枚とも納付場所に提出して下さい。

平成5年度	国立学校特別会計(0254)	文部省所管
取扱序名	大学入試センター (55300)	
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料
納付金額	¥ 1 4 0 0 0	万 千 百 十 円
納付目的	大学入試センター試験検定料 (3教科以上受験用)	
納付期限	平成5年10月26日限り	
納付場所	日本銀行本店、支店、代理店 又は歳入代理店 郵便局	
上記の金額を 領収しました。 (領収日付印)		

## 領 収 控

## 国 庫 金

(納入者)

No. 0372902

※ 現住所 〒

※ フリガナ

氏 名

※ 高等学校等コード

平成 5 年度	国立学校特別会計(0254)	文部省所管
取扱序名	大学入試センター (55300)	
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料
納付金額	¥ 1 4	0 0 0
納付目的	大学入試センター試験検定料 (3教科以上受験用)	
納付期限	平成 5 年 10 月 26 日限り	
上記の金額を 領収しました。		(領収日付印)

## 領 収 済 通 知 書

## 国 庫 金

(納入者)	No. 0372902					
* 現住所	〒					
※ フリガナ _____						
氏名 _____						
※ 高等学校等コード						
あて先 郵便番号 153 所在地 東京都目黒区駒場2-19-23 所属庁名及び 歳入徴収官 大学入試センター管理部長						
取りまとめ局	〒152 東京都目黒区目黒本町1-15-16 目黒郵便局					

平成5年度	国立学校特別会計(0254)		文部省所管		
取扱庁名	大学入試センター (55300)				
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料			
納付金額	万	千	百	十	円
	¥ 1	4	0	0	0
納付目的	大学入試センター試験検定料 (3教科以上受験用)				
納付期限	平成5年10月26日限り				
上記の金額を 領収しました。 (領収印付印)					

# 納付書・領収証書

## 国 庫 金

(納入者)	No. 5372902		
※ 現住所	〒		
※ フリガナ			
氏名	殿		
※ 高等学校等コード			

注意  
 1. 納付金額を納付するときは、※印のところを明りょうに記入し、納付場所に納付して下さい。なお、高等学校等コードは、受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入して下さい。  
 2. 納付期限後には納付することはできません。  
 3. 納付したときは、必ず領収証書を受け取って下さい。

平成5年度	国立学校特別会計(0254)		文部省所管			
取扱庁名	大学入試センター (55300)					
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料				
納付金額	¥	9	千	百	十	円
0	0	0				
納付目的	大学入試センター試験検定料 <b>(2教科以下受験用)</b>					上記の金額を 領収しました。
納付期限	平成5年10月26日限り					(領収日付印)
納付場所	日本銀行本店、支店、代理店 又は歳入代理店 郵便局					

◎ この納付書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付場所に提出して下さい。

## 領 収 控

## 国 庫 金

(納入者)	No. 5372902		
※ 現住所	〒		
※ フリガナ			
氏名			
※ 高等学校等コード			

平成 5 年度	国立学校特別会計(0254)	文部省所管
取扱庁名	大学入試センター (55300)	
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料
納付金額	¥ 9	千 百 十 円 0 0 0
納付目的	大学入試センター試験検定料 <b>(2教科以下受験用)</b>	
納付期限	平成 5 年 10 月 26 日限り	
上記の金額を 領収しました。		
(領収日付印)		

## 領 収 済 通 知 書

## 国 庫 金

(納入者)

No. 5372902

※ 現住所 〒

※ フリガナ

氏名

※ 高等学校等コード

あて先 郵便番号 153  
 所在地 東京都目黒区駒場2-19-23  
 所属庁名及び  
 歳入徴収官 大学入試センター管理部長

取り扱い局 〒152 東京都目黒区目黒本町1-15-16 目黒郵便局

平成5年度	国立学校特別会計(0254)	文部省所管
取扱庁名	大学入試センター (55300)	
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料
納付金額	¥ 9	千 百 十 円 0 0 0
納付目的	上記の金額を (2教科以下受験用) 領収しました。	
納付期限	平成5年10月26日限り (領収日付印)	